

平成26年度

青梅市

自治会に関するアンケート調査報告書

青梅市市民活動推進課

# 目 次

## 目次

1	自治会の規約について .....	- 1 -
問 1	自治会規約、定款の有無 .....	- 1 -
2	自治会の会計年度について .....	- 1 -
問 2	会計の年度は、はじまりと終わり .....	- 1 -
3	自治会長等役員について .....	- 2 -
問 3	自治会長の年齢について .....	- 2 -
問 4	自治会長の職業について .....	- 2 -
問 5	自治会内の役員の選出方法について .....	- 2 -
問 6	自治会役員の任期について .....	- 3 -
問 7	役員手当の有無及び内容について .....	- 3 -
問 8	自治会活動従事回数（月） .....	- 4 -
4	自治会の現状について .....	- 4 -
問 9	自治会費（年間）及び集金の回数 .....	- 4 -
問 10	自治会加入世帯数 .....	- 4 -
問 11	自治会の組数 .....	- 5 -
問 12	自治会の規模 .....	- 5 -
5	自治会の活動について .....	- 6 -
問 13	自治会でやっている活動・分野 .....	- 6 -
問 14	一番力を入れている行事の活動分野 .....	- 7 -
6	自治会の課題について .....	- 7 -
問 15	自治会運営の課題について .....	- 7 -
問 16	自治会運営の課題への取組みについて .....	- 8 -
問 17	課題解決のために必要なこと .....	- 9 -
問 18	課題解決のために自治会で取り組んでいること .....	- 9 -
7	市の政策について .....	- 11 -
問 19	課題解決のために行政が取り組むべきこと .....	- 11 -

# I 調査の概要

調査の目的 自治会の組織、活動状況および自治会の抱える課題を把握し、今後の自治会の取組や、青梅市の地域支援事業に活かしていくことを目的として実施した。

調査期間 平成27年2月26日から3月31日

調査対象 平成26年度青梅市内の全自治会長 172人

回答数 160自治会 (93.02%)

図表の見方 図(グラフ)の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。

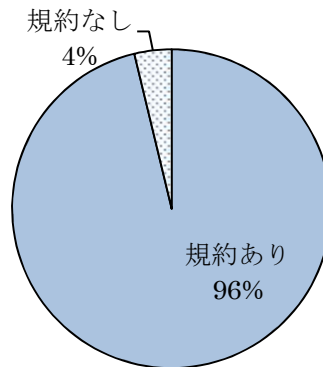
N:その設問に対する回答者数 例:(N=160)・・・回答者数は160

# II 調査結果

## 1 自治会の規約について

### 問1 自治会規約、定款の有無

- ・96%の自治会において、規約(会則等)が整備され運営されている。世帯数が少ないなどの理由により内規等で対応している自治会があるが、より早い規約(会則)の整備が求められる。



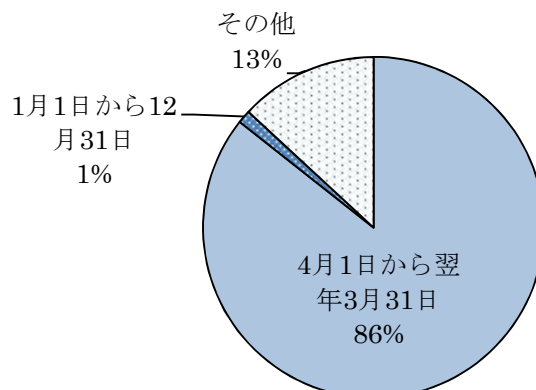
N=160

## 2 自治会の会計年度について

### 問2 会計の年度は、はじまりと終わり

- ・会計年度を、4月1日から翌3月31日とする自治会は86%であるが、1月1日から12月31日が1%のほか、その他として、2月1日から翌1月31日までが3%、3月1日から翌1月31日までが、10%、2月20日～翌2月19日、5月総会から翌5月総会までが0.6%などとなっている。

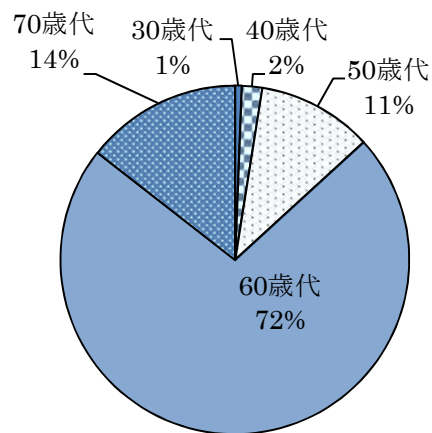
年度ごとの自治会振興交付金を受けているため、会計年度を4月1日から翌3月31日に改正していくことが望ましい。



### 3 自治会長等役員について

#### 問3 自治会長の年齢について

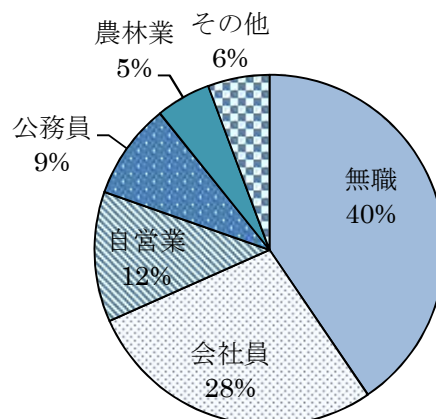
・「60歳代」が最も多く72%を占めている。次いで「70歳代」が14%でこれらを合わせると、60～70歳代が86%に達している。



N = 159

#### 問4 自治会長の職業について

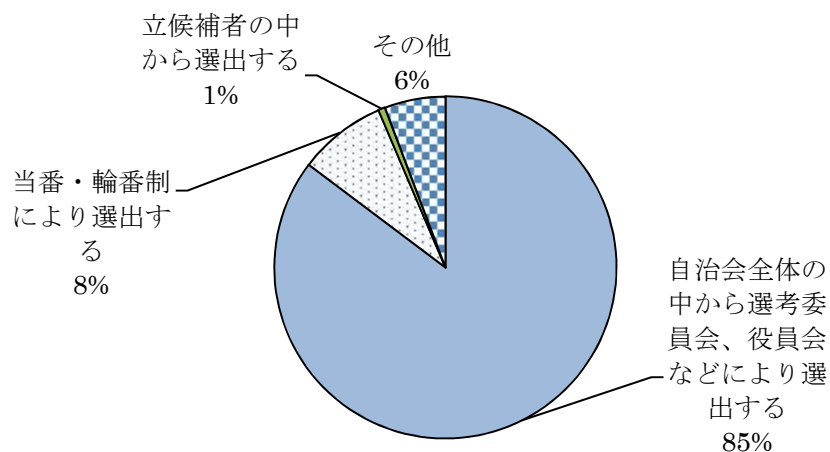
・「無職」が最も多く40%を占めている。次いで「会社員」が28%で、次いで「自営業」12%、「公務員」9%、「農林業」5%、「その他」6%で、何らかの職業に従事している割合が60%である。



N = 158

#### 問5 自治会内の役員を選出方法について

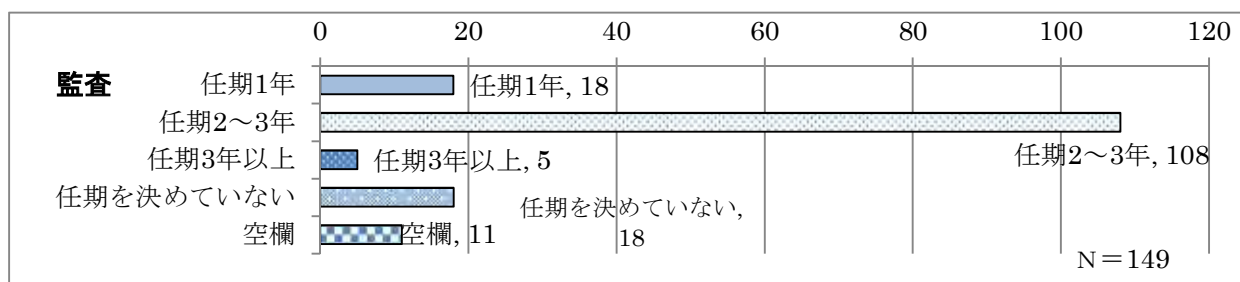
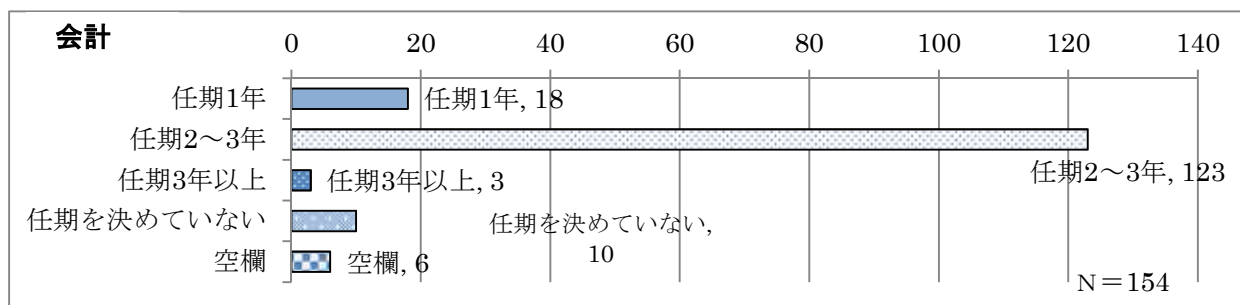
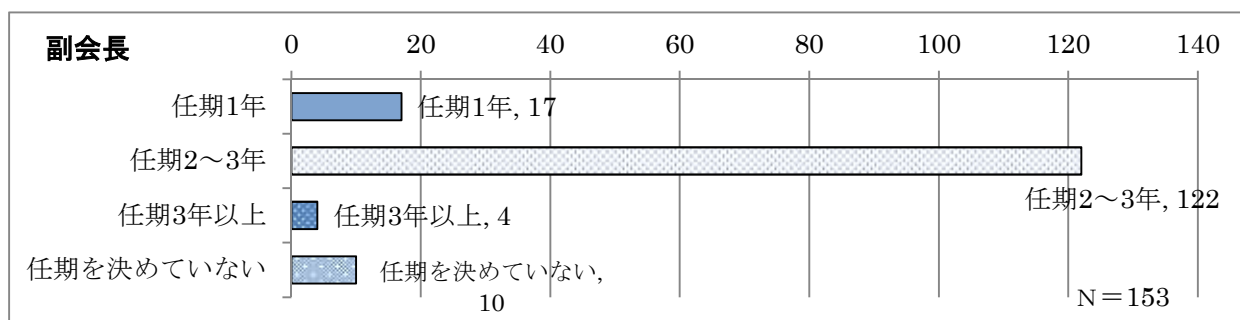
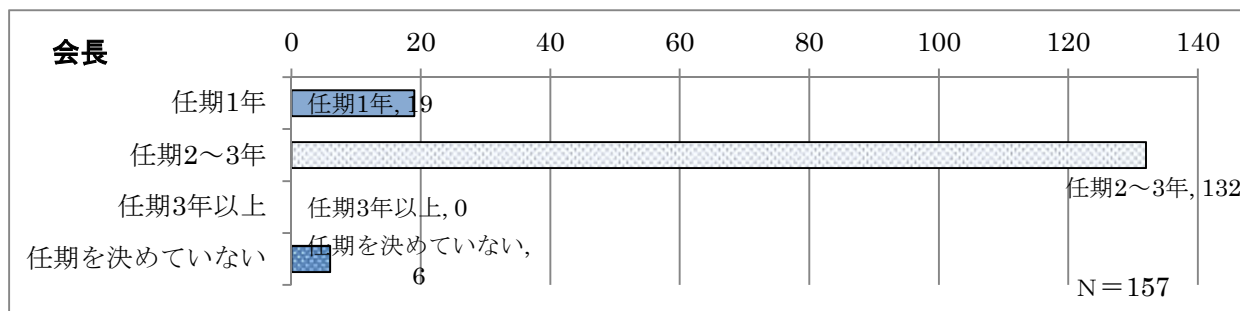
・「自治会全体の中から選考委員会、役員会などにより選考」が最も多く85%を占めている。次いで「輪番制」が8%で、「立候補者の中から選出する」は1%、「その他」の6%は、抽選や互選などがある。



N = 156

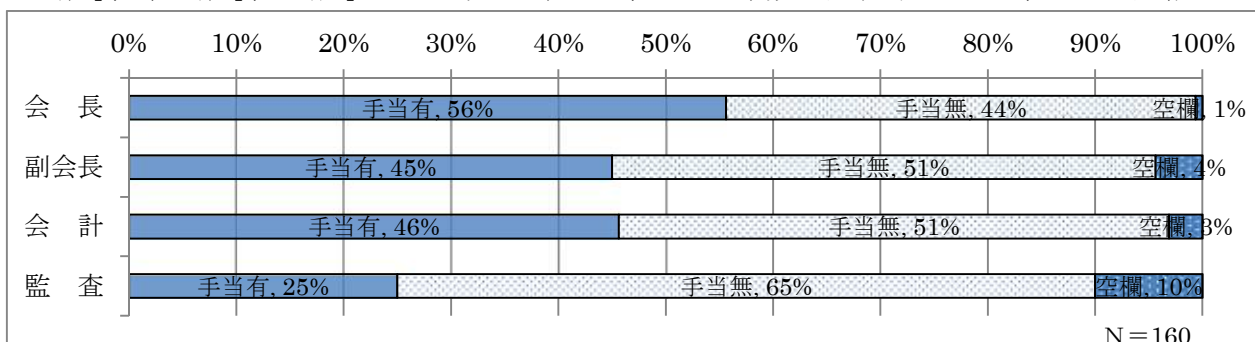
### 問6 自治会役員の任期について

・役員の任期については、2～3年が最も多く、70%以上を占めている。大多数の自治会で、役員の任期は2～3年が標準となっていることが伺える。



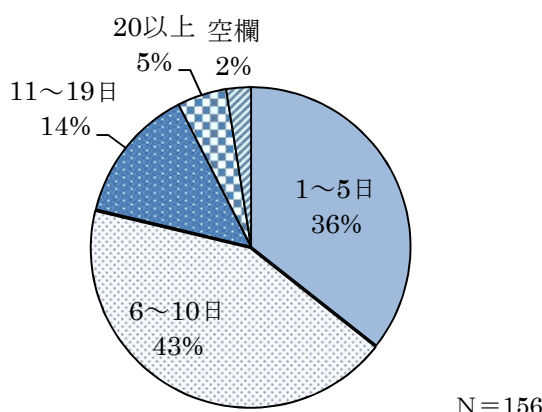
### 問7 役員手当の有無及び内容について

・「会長」、「副会長」、「会計」のいわゆる三役では、およそ半数の自治会において、手当を支給している。



問 8 自治会活動従事回数（月）

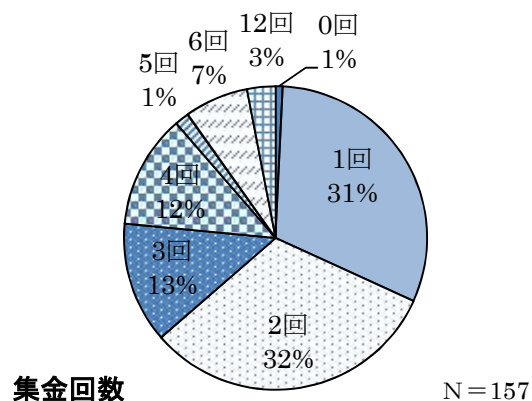
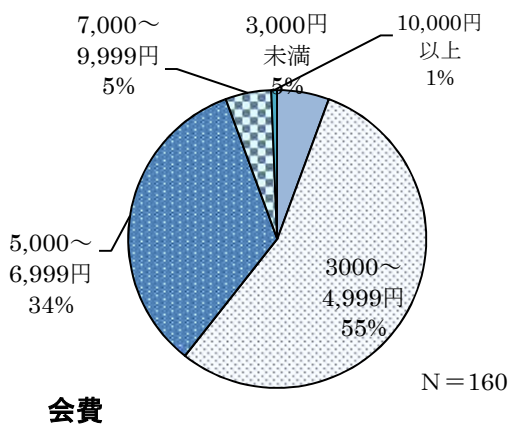
・会議も含め1ヶ月に「6～10日」が43%、次いで1～5日が36%、「11～19日」が14%、「20日以上」が5%の順となっている。



4 自治会の現状について

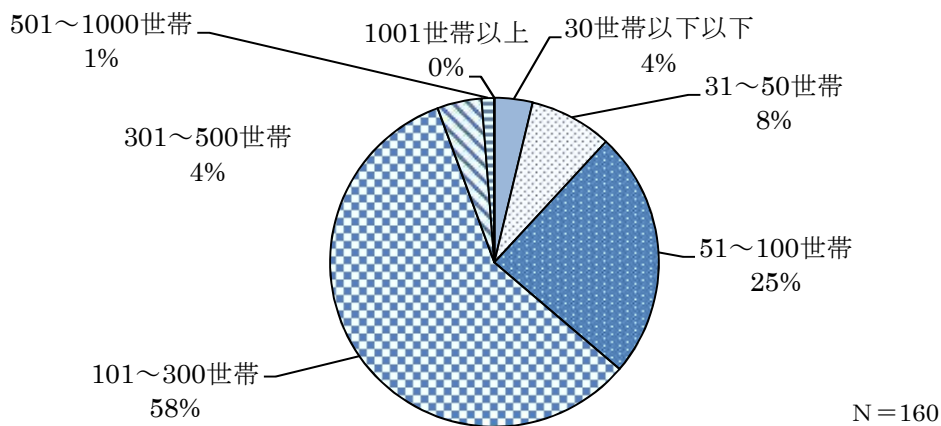
問 9 自治会費（年間）及び集金の回数

・年間の自治会費は、低いところは1,200円、最高で10,000円となっており、自治会によってかなり開きがあることがわかる。  
 ・集金回数は、年1回、2回が多く、合わせて63%である。集金にかかる手間を減らしたり、1回当たりの支払い金額を抑えたり、各自治会によってばらつきがあるという状況が伺える。



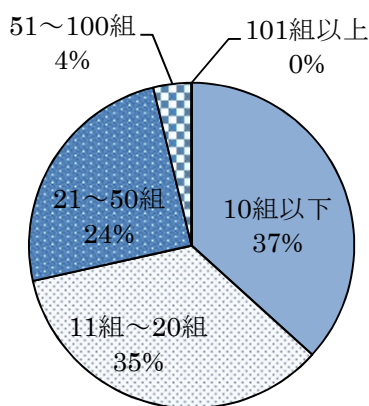
問 10 自治会加入世帯数

・自治会加入世帯は、101世帯～300世帯の自治会が58%を占めている。100世帯以下の自治会は合わせて37%で、そのうち31～50世帯の自治会が8%、30世帯以下の自治会が4%である。加入世帯数50世帯以下の自治会の多くは、会員の高齢化という課題も抱えている。



### 問 1 1 自治会の組数

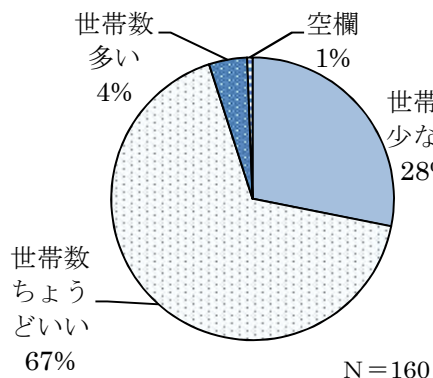
・組数が 10 以下の小規模な自治会が計 37%を占めている。一方で、51 以上の組がある大規模な自治会も 4%あり、問題や課題も大きな差があると推察される。



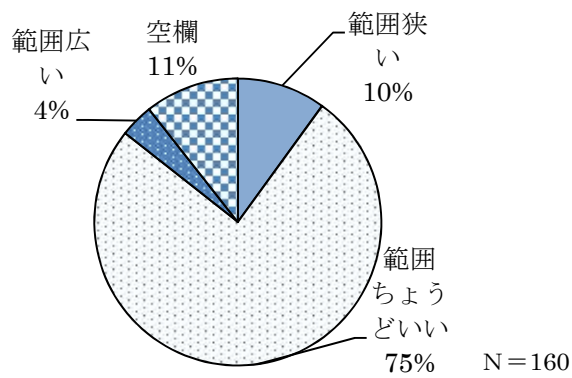
### 問 1 2 自治会の規模

・自治会の規模に関して、自治会の世帯数については 67%、範囲については 75%の自治会が「ちょうどいい」という回答であった。

世帯数については、28%の自治会で「少ない」、4%の自治会で「多い」という回答であり、それぞれの自治会で異なる問題を抱えていることがわかる。



世帯

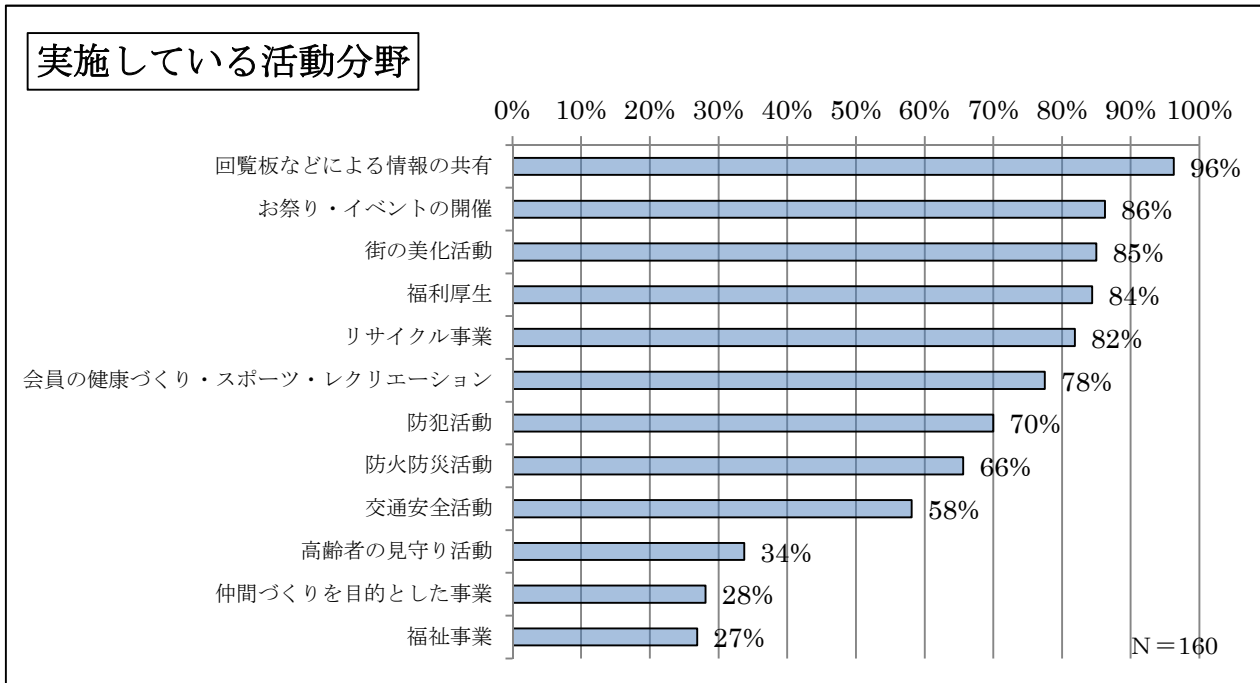


範囲

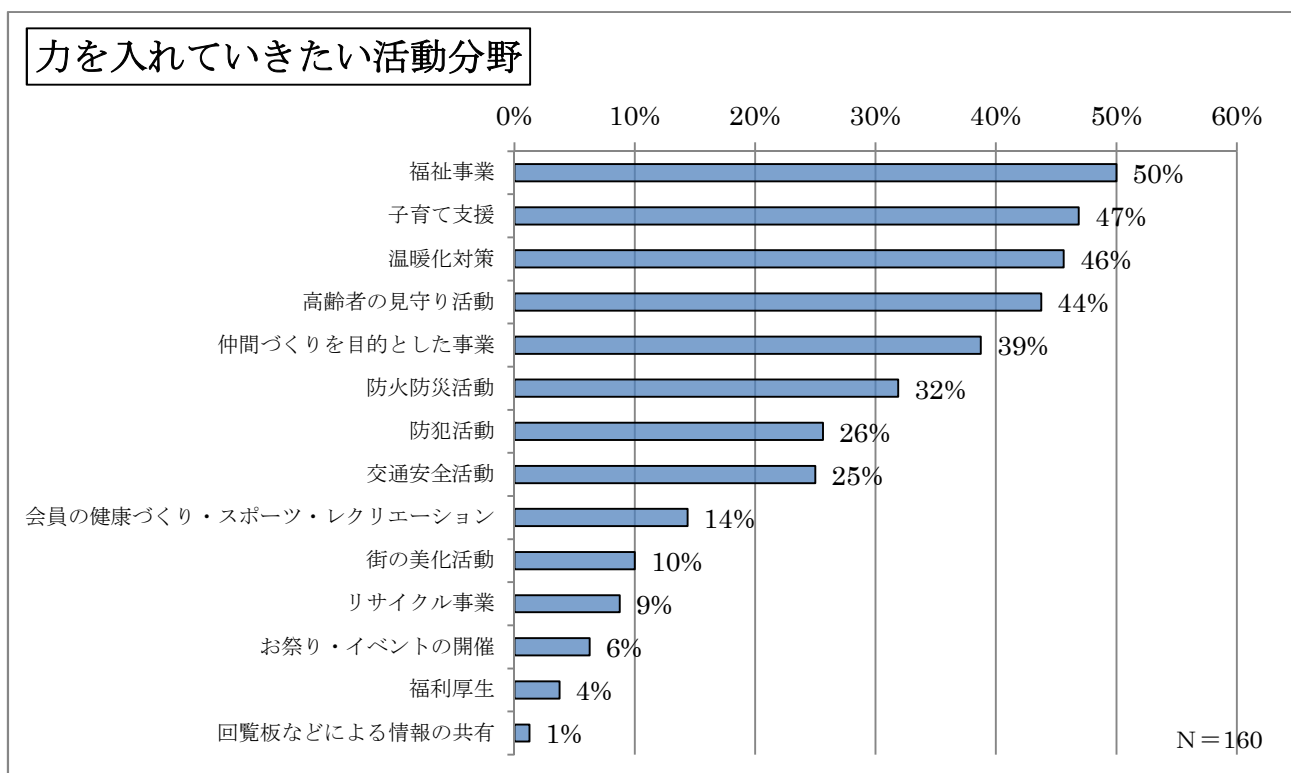
## 5 自治会の活動について

### 問13 自治会で行っている活動・分野

- ・実施している活動については、市からの委託も含む「回覧板などによる情報の共有」が最も多く、次いで「お祭り、イベントの開催」86%、「街の美化活動」85%、「福利厚生」84%、「リサイクル事業」82%、「会員の健康づくり・スポーツ・レクリエーション」78%と続いている。「防犯活動」、「防火防災活動」も、70%、66%と約7割の自治会が実施している。



- ・今後さらに力をいれていきたい事業について、最も多かったのは、「福祉事業」50%、次いで「リサイクル事業」47%となっており、約半数の自治会が今後力をいれて活動したいと回答している。

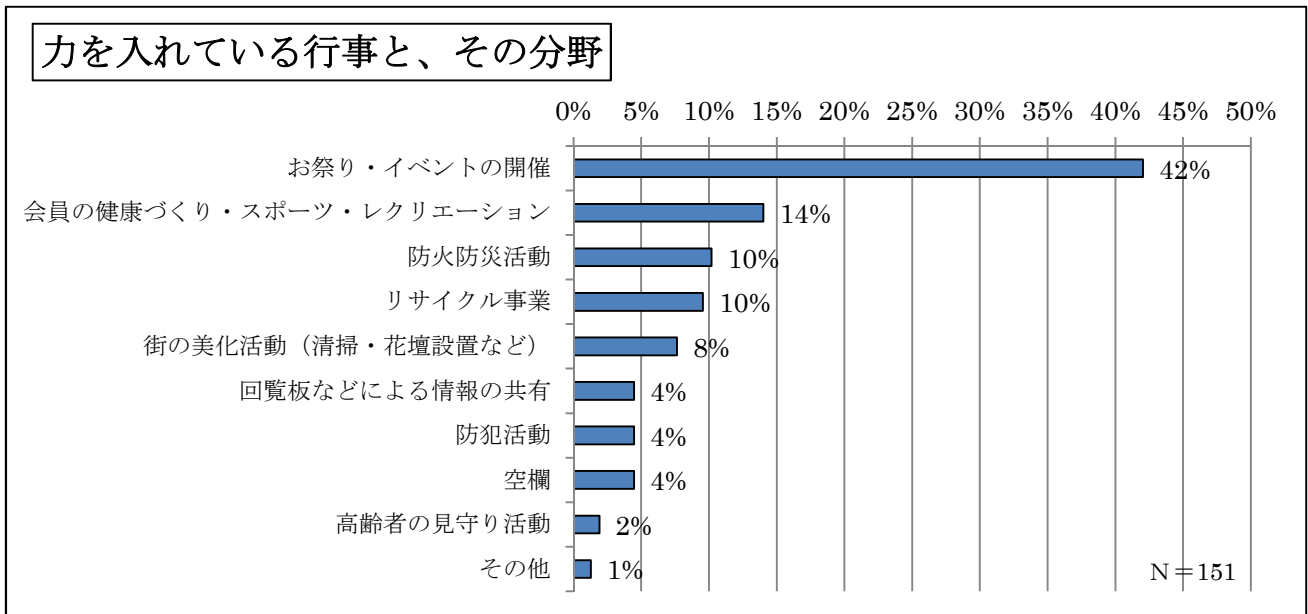




・縮小又は廃止したい事業は、「温暖化対策」が8%、「仲間づくり」「子育て事業」が6%、「子育て支援」や「お祭り、イベントの開催」、「福祉事業」が4%などとなっているが、いずれも低い数値となっている。

#### 問14 一番力を入れている行事の活動分野

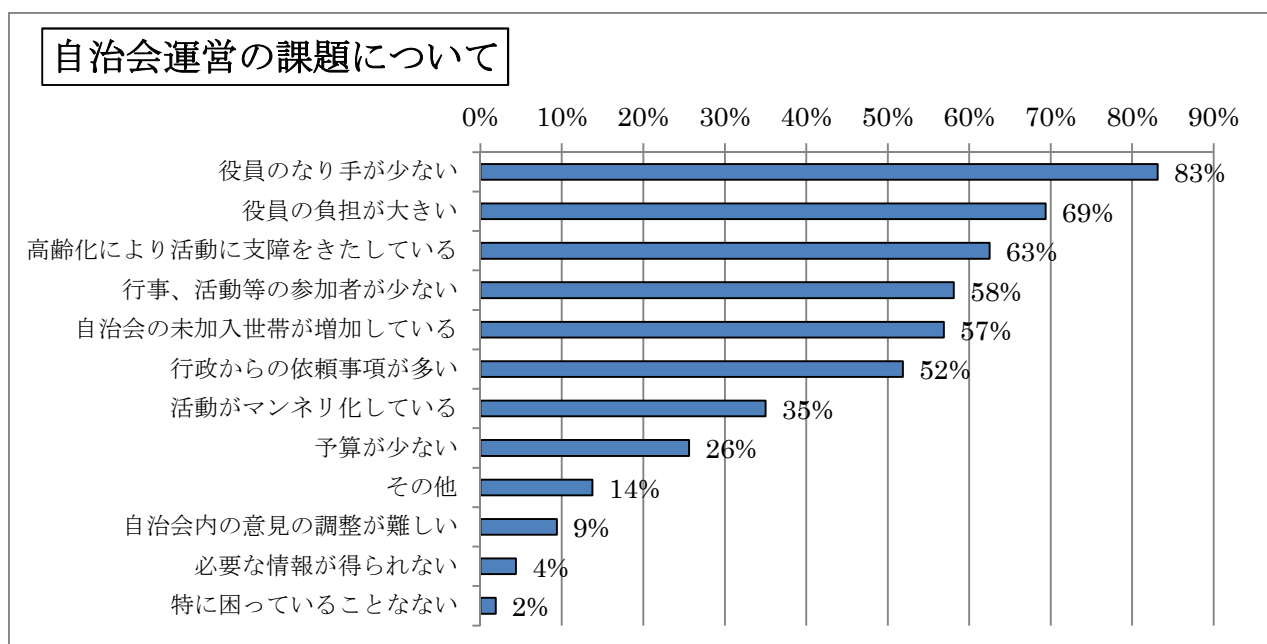
・「お祭り、イベント」が42%を占め、自治会の一大行事であることが伺える。次いで、「会員の健康づくり・スポーツ・レクリエーション」14%、「防火防災活動」10%となっており、イベント以外の項目に重きを置く自治会の割合は15%以下と低くなっている。



## 6 自治会の課題について

#### 問15 自治会運営の課題について

・自治会運営の課題で最も多かったのが、「役員のなり手が少ない」83%であり、役員改選に苦慮している状況である。次いで「役員の負担が大きい」や、「高齢化により支障をきたしている」、「行事、活動等の参加者が少ない」、「自治会未加入世帯が増加している」と続き、「行政からの依頼事項が多い」も過半数の自治会の課題となっている。



## 問 1 6 自治会運営の課題への取組みについて

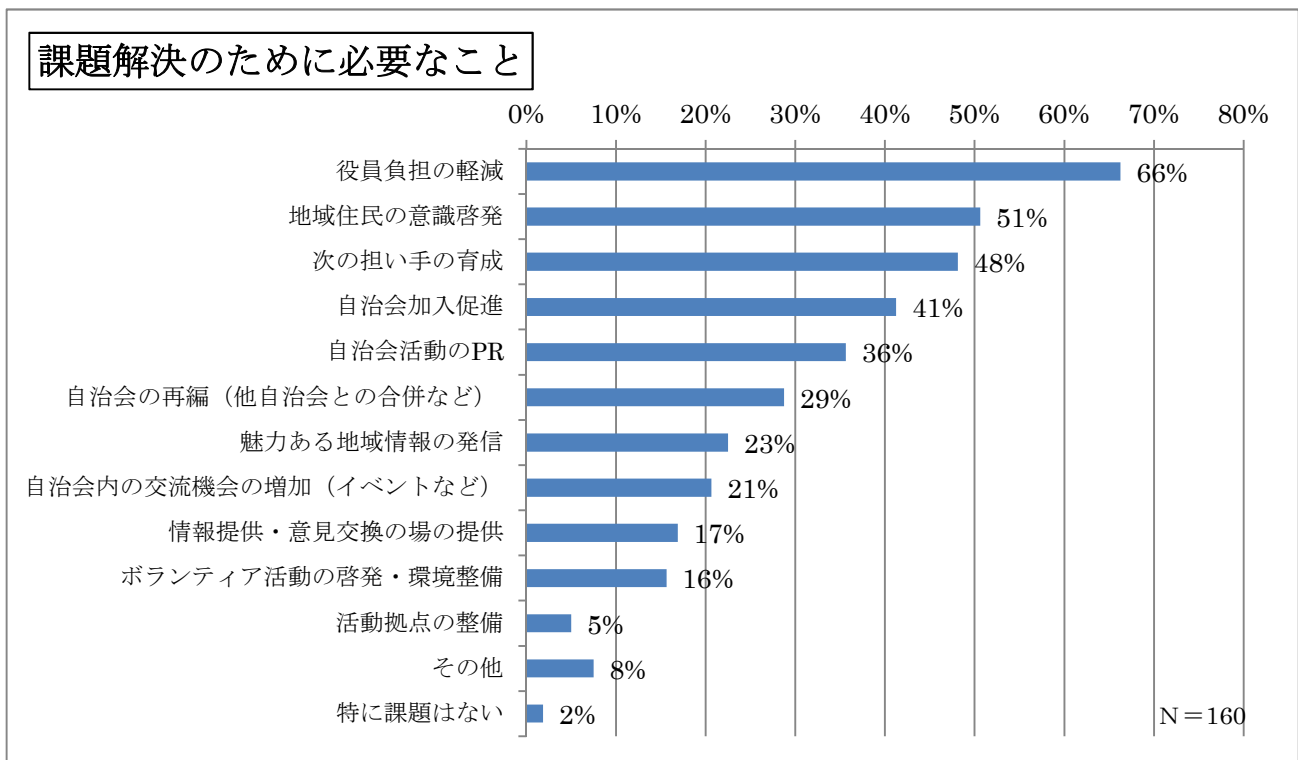
・問 15 で挙げられた課題を解決するため、検討・実施している取組について、114 の自治会から挙げられた回答を次のとおり分類・集計した。

自治会運営の課題への取組について	件数
<p>● 役員のなり手がいない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会組織見直し（役員及び理事（組長）の負担軽減方法を検討）</li> <li>・役員の負担軽減と事業活性化を図るため、事業部制を取り入れた</li> <li>・退会する理由として、隣組長の輪番制があった。高齢世帯について、隣組の理解を踏まえて順番を飛ばす対策をとった</li> <li>・3地区あるが体育委員を3人だすところを2人している</li> <li>・隣接する自治会との統合を目指して活動中</li> <li>・輪番制による選出、若い人たちのアイディアを取り入れている</li> <li>・組の統廃合・自治会加入メリット事業等の検討</li> </ul>	24 件
<p>● 役員の負担が大きい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会長の業務負担が多すぎるので三役内で業務分担を検討する</li> <li>・本来の目的以外の神社の運営と青梅大祭について自治会組織から離し、別組織とした</li> <li>・組織体制の改善（行事対応、回覧等対応、自治会費対応の負担を分ける）</li> <li>・役員選出の輪番制をやめて、他の方法を検討中（高齢者及び若手の現役で仕事をされている方が負担にならない方法）</li> <li>・活動の能率化、省力化、支会としての活動に不参加。無理な活動はしない</li> <li>・自治会業務見直し（自治会行事の削減または他組織へ移管）</li> </ul>	12 件
<p>● 高齢化により活動に支障をきたしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣組長の免除等をして退会をしないようにする</li> <li>・高齢者化が進み7割以上が70歳以上。人口増加が望めない以上、1丁目～3丁目までを統合する事も検討しなければならなくなる</li> <li>・高齢者の負担軽減（役員免除、会費割引等）</li> <li>・できるだけたくさんの方が出られる行事の企画</li> <li>・高齢化により隣組再編成について取り組んでいます</li> <li>・高齢化に伴い、従来からの懇親の場であるもちつき大会を更に領域を広げ自治会内で活発に活動している。各種趣味サークルの活動風景をパネルで展示案内し多くの人々に参加を呼び掛けている</li> </ul>	21 件
<p>● 自治会内の意見の調整が難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連合会行事は地域が広いため、集約連携が図れない・美化デーには役員全員が出て、コミュニケーションを図る</li> <li>・現会員への情報提供方法再考中</li> </ul>	2 件
<p>● 自治会未加入世帯が増加している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員にアンケート実施を検討している。大人から子供まで多くの会員が参加できる事業、活動、参加したい事業、行事は・・・等調査予定</li> <li>・自治会未加入の人には、ごみカレンダー配布時に加入促進を進めている</li> <li>・独自の加入促進チラシの作成・自治会員以外へのイベント参加の呼びかけ</li> <li>・未加入世帯への加入勧誘を繰り返し行い、また広報活動の見直しを行ってきている</li> <li>・新築世帯への加入依頼等々</li> </ul>	28 件
<p>● 活動がマンネリ化している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事については、マンネリ化もあり、見直し、縮小、廃止も検討し、更に新しく世代間交流会（3世代スポーツ交流）を実施している</li> <li>・行事、イベント後には、アンケートをとり、次回に反映している。単発的でなく、継続的な（発展的）な行事を心掛けている</li> <li>・防火防災ボランティアを立ち上げて自治会活動に見える活動にして会費を増やした</li> </ul>	10 件

<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員相互の親睦と高齢者の閉じこもりの解消として、運動広場等での軽スポーツの実施やハイキングの実施</li> <li>・自治会活動は遊びに関係する行事が多い。防災を中心に考えるべき</li> <li>・連合会の運動会と盆踊りの行事がすごく負担になる。運動会だけでもなくなれば各役員の負担も少なくなるし、役員を選出するときもお願いしやすくなる</li> </ul>	
<p>● 予算が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収による資金稼ぎでしのぐ</li> <li>・繰越金が年々減少し、出費削減と会員増が課題。無料で行っていた行事を会費制にする</li> <li>・各種負担金縮小を働きかけていく</li> </ul>	5件

**問 17 課題解決のために必要なこと**

・問 15 で挙げた課題を解決するために必要なこととして最も回答が多かったのが、「役員負担の軽減」66%であり、問 15 の回答と比例した役員負担の内容になった。次いで、「地域住民の意識啓発」51%、「次の担い手の育成」48%と続き、一部の人だけでなく自治会活動を地域全体で支える必要性、世代交代の必要性を感じている割合が約半数を占めている。



**問 18 課題解決のために自治会で取り組んでいること**

・問 17 で挙げた課題を解決するため、検討・実施している取組について、114 の自治会から挙げられた回答を次のとおり分類・集計した。

自治会運営の課題解決への取組みの検討・実施	件数
<p>●自治会・組の再編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合推進WG、隣組再編WGを立ち上げた。なお、両自治会の有識者からなる統合推進委員会は27年度より活動中。WGは、この委員会の作業部会として位置づけられる</li> <li>・組の統廃合・自治会加入メリット事業等の検討</li> <li>・自治会の合併をしたいが、手持ち資金の差、また自治会館などの利用方法など問題がある組の構成人員のアンバランス (3人組で23組) があり、合併するに当たってもお互いの軋轢</li> </ul>	24件

<ul style="list-style-type: none"> <li>もあり難題である</li> <li>・隣の自治会の一部と合併を検討中</li> </ul>	
<b>●地域住民の意識啓発、自治会活動の活性化</b>	12件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員のボランティア登録制度を発足「ひとりひとりが少しずつみんなで作る」をモットーに会員参加型の自治会運営を目指している</li> <li>・防災ボランティア、運動会、盆踊り等自治会活動を見える活動にして会員数を増やしたいただし活動費が課題となっている <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討の段階であるが、高齢者世帯、一人暮らしの世帯のため「ちょこっとお助けマン制度」の立ち上げの話が出ている</li> </ul> </li> <li>・自治会と市とが連携をとって会員増加を図っていく必要があるため、連合会として動く</li> <li>・〇〇3丁目自治会ふれあいクラブ（ボランティア）への参加加入の啓発活動、声掛けをしている</li> <li>・防災、防犯に対する住民の意識啓発のために毎年防災、防犯、交通座談会を開催している</li> <li>・高齢者でも参加でき、自治会に入って良かったといえるような企画を考えている</li> <li>・自主防災組織を充実させる</li> <li>・「〇〇向上委員会」というプロジェクトを昨年10月から開始、課題や改善などを協議し、自治会の衰退を防止するための施策を見出すことに努めている</li> </ul>	
<b>●自治会活動のPR、魅力ある地域情報の発信</b>	21件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に力を入れている夏祭りへの参加、PRを各戸ごとに行っている</li> <li>・「〇〇1丁目だより」、写真を多用した自治会広報紙を活用し、自治会活動のPRをしている。自治会加入ビラに加えたこともある</li> <li>・高齢者の負担軽減（役員免除、会費割引等）</li> <li>・できるだけたくさんの方が出られる行事の企画</li> <li>・自治会作成のPRポスター作成掲示</li> </ul>	
<b>●次の担い手の育成</b>	2件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の役員になる若い人が少ない事！自治会内の意見の活発化！</li> </ul>	
<b>●役員負担軽減</b>	28件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・集金作業を減らす</li> <li>・副自治会長を増やし、自治会長の負担を軽減できるよう検討している</li> <li>・チームワークによる役員負担軽減</li> <li>・①自治会組織見直し（役員及び理事（組長）の負担軽減方法を検討）②自治会業務見直し（自治会行事の削減または他組織へ移管）③組織体制の改善（行事対応、回覧等対応、自治会費対応の負担を分ける）</li> <li>・トップとの年齢差のギャップがあり底上げを検討中・役員会の回数を少なくする</li> <li>・広報担当（回覧等）の軽減</li> </ul>	
<b>●自治会加入促進活動</b>	10件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築住宅入居者、脱会者への自治会加入活動を年2回ほど実施している</li> <li>・掲示板を活用し、未加入者に活動アピール</li> </ul>	
<b>●活動拠点の整備</b>	5件
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会館の老朽化に伴い建て替えを計画中（別途相談済み）</li> </ul>	
<b>●自治会内の交流機会の増加（イベントなど）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者でも参加でき、自治会に入って良かったといえるような企画を考えている</li> <li>・子供を連れて行事に参加できるようにしている</li> </ul>	
<b>●その他</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法により、自治会内の年代別の人数が把握できず、対策の立案ができない状況</li> </ul>	

## 7 市の政策について

### 問19 課題解決のために行政が取り組むべきこと

・「活動費の助成」、「住民が地域活動に参加するきっかけづくり」、「地域活動に関する市民の意識啓発」が上位3件を占め、半数が資金面での支援、市民への啓発に期待を寄せていることが伺える。

